

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第3区分
 【発行日】平成23年1月27日(2011.1.27)

【公表番号】特表2010-521539(P2010-521539A)
 【公表日】平成22年6月24日(2010.6.24)
 【年通号数】公開・登録公報2010-025
 【出願番号】特願2009-539660(P2009-539660)
 【国際特許分類】

C 0 9 K 3/00 (2006.01)
 C 0 9 D 201/00 (2006.01)
 C 0 9 D 7/12 (2006.01)
 C 0 8 L 23/00 (2006.01)
 C 0 8 L 91/06 (2006.01)
 C 0 8 K 3/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 9 K 3/00 R
 C 0 9 D 201/00
 C 0 9 D 7/12
 C 0 8 L 23/00
 C 0 8 L 91/06
 C 0 8 K 3/00

【手続補正書】

【提出日】平成22年12月1日(2010.12.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

無機酸化物粒子；及び

無機酸化物粒子上にコートされているワックス；

を含み、ワックスが約50%以上の結晶化度を有する、艶消しコーティングを製造するのに有用な艶消し剤。

【請求項2】

該ワックスが約55%以上の結晶化度を有する、請求項1に記載の艶消し剤。

【請求項3】

該ワックスが約60%以上の結晶化度を有する、請求項1に記載の艶消し剤。

【請求項4】

該ワックスが約70%以上の結晶化度を有する、請求項1に記載の艶消し剤。

【請求項5】

該ワックスが約80%以上の結晶化度を有する、請求項1に記載の艶消し剤。

【請求項6】

該ワックスがポリオレフィンを含む、請求項1～5のいずれか1項に記載の艶消し剤。

【請求項7】

該無機酸化物が、シリカ、アルミナ、マグネシア、チタニア、ジルコニア、鉄酸化物、又はこれらの混合物を含む、請求項1～6のいずれか1項に記載の艶消し剤。

【請求項8】

該無機酸化物が 2 ~ 12 ミクロンの中央粒径を有する、請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項に記載の艶消し剤。

【請求項 9】

無機酸化物粒子；

無機酸化物粒子上にコートされているワックス；及び

コーティング配合成分；

を含み、ワックスが約 50 % 以上の結晶化度を有する、艶消しコーティングを製造するのに有用なコーティング配合物。

【請求項 10】

該ワックスが約 60 % 以上の結晶化度を有する、請求項 9 に記載のコーティング配合物。

【請求項 11】

該ワックスが約 70 % 以上の結晶化度を有する、請求項 9 に記載のコーティング配合物。

【請求項 12】

該ワックスが約 80 % 以上の結晶化度を有する、請求項 9 に記載のコーティング配合物。

【請求項 13】

該ワックスが、ポリエチレン、ポリプロピレン、又はこれらの混合物を含む、請求項 9 ~ 12 のいずれか 1 項に記載のコーティング配合物。

【請求項 14】

該無機酸化物が、シリカ、アルミナ、マグネシア、チタニア、ジルコニア、鉄酸化物、又はこれらの混合物を含む、請求項 9 ~ 13 のいずれか 1 項に記載のコーティング配合物。

【請求項 15】

該無機酸化物が 2 ~ 12 ミクロンの中央粒径を有する、請求項 9 ~ 14 のいずれか 1 項に記載のコーティング配合物。

【請求項 16】

無機酸化物粒子；及び

無機酸化物粒子上にコートされているワックス；

を含み、ワックスが約 50 % 以上の結晶化度を有する、艶消しコーティング。

【請求項 17】

Faber 試験を用いる該コーティングの耐摩耗性が、60 ° において 10 光沢単位未満である、請求項 16 に記載の艶消しコーティング。

【請求項 18】

Faber 試験を用いる該コーティングの耐摩耗性が、20 ° において 5 光沢単位未満である、請求項 16 に記載の艶消しコーティング。